



平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社スペースシャワーネットワーク  
 代表者名 代表取締役社長 清水 英明  
 ( J A S D A Q ・ コード 4 8 3 8 )  
 問合せ先 取締役 案納 俊昭  
 電 話 0 3 - 3 5 8 5 - 3 2 4 2

## 平成 2 8 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 27 年 4 月 24 日 付 け 当 社 「 平 成 27 年 3 月 期 決 算 短 信 」 に お い て 公 表 い た し ま し た 平 成 28 年 3 月 期 ( 平 成 27 年 4 月 1 日 ~ 平 成 28 年 3 月 31 日 ) の 業 績 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す 。

## 記

## 1. 平成 28 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

(単位：百万円 百万円未満切捨て)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	11,886	316	316	191	円 銭 17.95
今回修正 (B)	12,500	44	50	12	1.07
増減額 (B-A)	614	△272	△266	△179	—
増 減 率	5.2%	△85.9%	△84.0%	△93.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月 期)	11,759	226	231	113	10.60

## 2. 修正理由

デジタル音楽配信サービスの伸長、および当社マネジメントアーティストが想定を超える速度で人気を獲得していったことにより、売上高につきましては、当初の予想を上回る見通しとなりました。

しかしながら、当初見込んでいた以上にマネジメント関連の制作費が増加。また、スピードを増すアーティストマネジメント市場の変遷に対応すべく、次なるブレイクアーティストの輩出を見据えてプロモーションや制作体制を強化したことに加え、新規マネジメント契約獲得に向けたコストを前倒しで使用したこと等により、マネジメント関連の営業利益は、当初計画を大きく下回る見通しとなりました。

また、今後サービス開始が予定される、新規のライブ映像・動画配信プラットフォームに向けたコンテンツ制作・供給体制を整えるべく、先行投資を実施したことから、デジタルサービス関連の営業利益においても、当初計画を下回る見通しとなりました。

これらの結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、当初の予想を大きく下回る見通しとなりました。

以上の理由により、業績予想を修正いたします。

なお、当期末の配当予想につきましては、修正はありません。

※上記の業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは大きく異なる可能性があります。

以 上